

古川先生（おきゃん）の近況

12 期佐野先輩が取材してくださいました。



昨日（9月1日） 古川百合先生にお会いしてきました

先生は 御年 97歳です

昭和23年に西高に着任し 31期生と同時に退職しました（昭和54年）

専門はもちろん英語 15期 19期 23期 27期 で1年から3年までクラ

スを受け持ち教えたとのこと

卓球部の顧問として 長い間 活躍されました

昭和 20 年代の後半から 40 年代にかけて 練習も頑張ったそうです

中でも 9 期の森 篤行さんにはコーチをしてもらい また 外では平沼卓球場で明治の学生にずいぶん教えてもらったそうです

自分のご両親 ご主人のご両親 を看とり ご主人が亡くなられた後 4 年ほどたったころ 87 歳で今の敬老園に入居されたそうです 従前の家に近く また娘さんも近くに在住し ピアノも持ち込めると聞いて 決めたそうです

敬老園の居室は 40 m²以上あり 一人暮らしには十分だそうです
食事は事前に申し込んでおき 食堂に食べに行くことになっているそうです

今も お元気そのもので 毎週一回は歌のレッスンを受けられています 老人がよくやるコーラスではなく個人レッスンで 主としてヨーロッパの歌曲を原語で歌っているそうです 独語・仏語・伊語が多いそうです

英語が堪能な先生にとっては 外国語には抵抗なく入れるそうです

また ピアノも若いころからやられており 今も週一回習っているそうです
左膝が少し痛いくらいで 他は至って健康で 介護保険は一度も使った事がないそうです

西高の記念祭への出席をお願いしたところ ちょっと遠いので何があるか判らないとのことで今回は欠席とします、と断られました。

その代わりに 投稿をお願いしてきました 届きましたら連絡します
どなたか先生を訪問される希望がありましたら、事前に連絡の上、再度の訪問もさせていただきたい旨お伝えしてきました

先生は 口も滑らかで 自分の学生時代のこと 結婚のこと ご主人のこと (早稲田時代の同級生)、娘さんのこと 若いころ謡曲をやったこと などなど 話が尽きませんでした。 30分の予定が 2時間になってしまいました
また 帰りには 地下の駐車場まで お送りに来て下さいました (膝が大丈夫だったかちょっと心配です)

写真は敬老園の玄関先で写したものです。

9月2日 佐野 建一